

がん看護学実習Ⅳ

単位数：2 単位

時間数：60 時間

開講時期及び学期：2 年次前期

- 秋鹿都子 臨床看護学講座 准教授
- 若崎淳子 臨床看護学講座 教授
- 福田誠司 臨床看護学講座 教授
- 上田恵巳 鳥取大学医学部附属病院 がん看護専門看護師
- 奥野梨沙 鳥取大学医学部附属病院 がん看護専門看護師
- 山崎かおり 鳥取大学医学部附属病院 がん看護専門看護師
- 加藤由希子 松江赤十字病院 がん看護専門看護師

1. 科目の教育方針

優れた看護を継続的に実践しているがん看護専門看護師と共に行動し、がん看護専門看護師に求められる6つの役割、機能とその意義を理解する。また、がん看護専門看護師が行う熟達した役割実践活動に同行し、がん看護専門看護師が役割を開発・遂行する戦略や方策の実際を学ぶ。そして、役割開発に向けた自己の課題を明らかにする。

2. 教育目標

- 1) がん看護専門看護師が患者・家族に提供する高度な看護実践の目的・内容について考察する。
- 2) がん看護専門看護師が行うコンサルテーションの特徴や方法について考察する。
- 3) 患者・家族の QOL 向上を図る上で必要なケアが円滑に提供されるためにがん看護専門看護師が行う多職種間の調整について考察する。
- 4) がん看護専門看護師が行う倫理的問題の明確化、ならびに解決に向けての調整について考察する。
- 5) がん看護専門看護師が患者や家族、看護師に向けて行っている教育活動の目的・内容について考察する。
- 6) がん看護専門看護師が関わっている研究活動の目的・内容、意義について考察する。
- 7) がん看護専門看護師の役割開発や役割達成に向けた戦略や方策について考察する。
- 8) がん看護専門看護師としての役割を遂行する上での自己の課題について、看護理論や先行研究の結果と実践を関連づけて探究する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

がん看護専門看護師の活動に同行し、スーパービジョンを受けながらがん看護専門看護師の役割、機能のあり方を学ぶ。

【実習施設】

鳥取大学医学部附属病院
松江赤十字病院

【実習時期】

2 年次前期 6～7 月のうち 10 日間

【評価】

実習記録の内容、課題レポート、事前レポート、実習計画書、実習への取り組み・態度、カンファレンスへの参加状況、実習指導者の意見等により総合的に判定する。

*実習は原則2単位90時間であるが、到達目標に達しない場合や実習内容が不足していると単位認定教員が判断した場合には実習期間の延長または追加的な実習を行うこととする。

4. 使用テキスト、参考文献等
実習要項を別途示す。

5. 教育内容

- 1) がん専門分野で看護チームと連携しながら患者ケアを実践するがん看護専門看護師と共に行動し、実際に学ぶ。
- 2) コンサルテーション場面に同席し、がん看護専門看護師の相談役割の実際に学ぶ。
- 3) がん看護専門看護師が円滑な継続ケアのために医療チームの中で多職種との連携調整を行う場面に同席する。
- 4) がん看護専門看護師が参加する倫理カンファレンスや倫理調整場面に同席する。過去の事例についても随時口頭で説明を受ける。
- 5) がん看護専門看護師によるがん専門領域の看護チームへの教育場面に同席する。
- 6) がん看護専門看護師が実施してきた研究とその背景、および看護師が行う研究に対する指導やサポートの実際について、随時口頭で説明を受ける。研究指導やサポートの場面があれば見学する。
- 7) 実習担当教員と実習指導者（がん看護専門看護師）を交えて複数回カンファレンスを行い、役割についての考察を深める。